

## 8・26 県議選・知事選必勝をめざす総決起集会挨拶大要

県議選・知事選必勝をめざす総決起集会にご参加の皆さん、本当にご苦労様です。私も昨日は、内館市長候補の事務所を皮切りに 5 人の市議候補の選挙事務所を回って市議選勝利を共にお祝いしました。自宅に帰ったのは今日の午前 2 時 45 分でした。

盛岡市長選挙は、日本共産党盛岡地区委員会が内館候補と 11 項目の政策に関する覚書を結び、市民との共同でたたかった極めて重要な意義をもつ選挙となりました。あるマスコミの記者は、「日本共産党が政策の覚書を結んだことによって、政策的対決点が見えてきた」と話していました。そのことが内館候補が激しく追い上げる闘いの力になったことは明らかです。子のたたかいは盛岡市における市民と野党の共闘を前進させる大きな財産になったと確信します。

盛岡市議選における日本共産党が 5 議席を獲得したたたかいは大健闘というべきものです。14580 票、11.80% を獲得し、4 年前の総選挙の躍進と戦争法に反対する国民的な大闘争の中で獲得した 14884 票、12.49% にほぼ匹敵する重要なものでした。特に 4 年前より得票を増やした北部選対・三田村あみ子さん、玉山区の高橋和夫さんの取り組みは教訓に満ちています。この成果を確信にして、知事選挙と県議選をさらに前進させる攻勢的な選挙にしようではありませんか。私はその先頭に立って奮闘する決意です。

岩手県知事選挙は、市民と野党の共闘でたたかう全国的にも注目される選挙です。それを象徴的に示すものが、28 日の野党党首による大街頭演説会です。全国に例のないものです。知事選の最大の山場であり、達増知事候補圧勝の流れをつくる大街頭演説会です。市議選のお礼も併せ、県議選の勝利の跳躍台として大きく成功させましょう。

県議選本番のチラシをご覧ください。知事選・県議選の対決構図と争点は、達増県政の継続・発展を勝ち取るのか、それとも安倍政権直結の悪政の持ち込みを許すのかどうか。達増県政の推進力としてさらに県政を前に進める日本共産党が 3 議席を獲得するかどうかです。

特に、今回の知事選・県議選で重要なことは、達増知事と 14 項目にわたる政策協定を結んでたたかう選挙だということです。チラシに政策協定の全文を紹介しています。画期的な内容です。4 つに目玉政策を掲げていますが、政策協定で合意した内容です。達増知事候補は 22 日の第一声で、「被災者の医療費免除は、来年も継続実施する」「子どもの医療費窓口無料化は中学生まで拡充する」と明確に訴えました。高すぎる国保税の引き下げでも、「公費 1 兆円の投入で協会けんぽ並みの引き下げ、宮古市の取り組みに学び、子どもの均等割りの減免を広げる」ことも合意しました。教育の課題では、「国、県、市町村によるテストづけの競争主義的教育のあり方を見直し、一人一人の子どもにゆきとどいた教育を進めること」でも合意しました。画期的な内容です。

今回の知事選・県議選は、復興・くらし・子育て・教育など、まさに県民の願いにこたえた県政をさらに進める選挙です。このことを大いに語り広げる選挙、推進力としての日本共産党・斉藤県議の役割を語り広げる選挙にしようではありませんか。

もう一つ強調したいことは、日本共産党・斉藤信の議席は、「市民と野党の共闘」を前進させる力であり、要だということです。日本共産党は、ふれずに、誠実に「市民と野党の共闘」の前進のために頑張ってきました。28 日の野党党首による大街頭演説会はその結実です。「市民と野党の共闘が政治を変える力」であり、日本共産党がその要として頑張ってきたことを語り広げる選挙にしましょう。

支持拡大目標をやり遂げるなど、やるべきことをやりきってこそ勝利できます。全支部・全党員のやりがいの合う、楽しい選挙にしましょう。候補者として全力で頑張ることを決意し私の発言・決意表明いたします。共に頑張りましょう。